

施策	5401 文化芸術活動の推進							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民							
施策が目指す姿	文化会館における指定管理者制度の導入、文化施設等の修繕・充実、文化祭等の文化活動の推進等を図る。							
成果指標	文化会館等年間入場者数...平成29年度で273,000人(現状値265,369人) 文化祭参加団体数...平成29年度で400団体(現状値382団体)  平成26年度の岩舟合併により指標1を変更							
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	成果指標1 [人]	予定	241,000.00	270,000.00	271,000.00	272,000.00	273,000.00	
		実績	235,476.00	268,020.00	298,020.00	358,881.00		
	成果指標2 [団体]	予定	312.00	390.00	393.00	396.00	400.00	
		実績	326.00	395.00	361.00	366.00		
		単位コスト	1,288.32	884.29	924.29	1,008.65		
	成果指標3 [ ]	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 [ ]	予定						
実績								
単位コスト								
トータルコスト (千円)	予定	403,476	353,030	330,585	321,298			
	実績	419,993	349,295	333,668	369,166			
内 部 評 価	貢献度	上位施策の成果指数の目標値80%を達成するためには、魅力ある文化会館自主事業や美術館企画が必要であるため本単位施策の目標達成度による貢献度は高い。						
	達成状況	文化会館等の入場者数は、魅力ある事業実施したことにより目標を達成した。しかし、文化祭参加団体数は、文化団体の解散や休会等により未達成となった。						
	課題	それぞれの地域で活発な文化活動が行われているが、団体間や地域間の交流が充分とれない状況であることが課題となっている。						
	取組方針	各地域の文化団体で組織されている栃木市文化活動協議会の活動を支援し、団体間及び地域間の交流、情報交換等がさらに進展するようにする。						
外 部 評 価	文化会館等年間入場者数は目標を大きく上回る成果となり評価できるものの、文化祭参加団体数は目標未達傾向が続いており、具体的な改善策や目標指標、及び目標値の見直しも検討する必要があると考える。次期計画に反映されたい。 文化祭参加団体は高齢化が進んでいる状況を鑑みて、若い世代への周知やメニューの開発も急務であるとする。 栃木市文化活動協議会の活動支援により文化団体の活性化と連携が図られることに期待したい。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	570101	ふるさと文化振興基金積立金				6,088	100	
	570301	文化課一般経常事務費				2,403	100	
	570401	文化補助金				8,459	100	
	571001	文化振興推進事業費				9,177	100	
	572101	とちぎ蔵の街美術館特別企画展等開催事業費				11,412	100	
	572201	とちぎ蔵の街美術館作品収集事業費				4,050	100	
	572301	とちぎ蔵の街美術館運営費				19,669	100	
	578401	文化会館管理運営委託事業費				147,508	100	
	713401	歌麿の愛したまちとちぎ事業費				5,878	100	
734401	文化会館施設整備事業費				62,121	100		



# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100404	予算事業コード	570401	事業区分	02	行政的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	文化補助金										主	5401	文化の振興		文化芸術活動の推進		
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 文化課 文化振興係						担当者	木嶋文子				従					
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H17 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	99,196	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 市の文化活動を推進するため、文化団体等に補助金を交付する。 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 補助金を交付することにより、文化団体等の活動を活性化する。					
	成果目標	文化会館等年間入場者数...平成29年度で273,000人(現状値265,369人) 文化祭参加団体数...平成29年度で400団体(現状値382団体) 平成26年度の岩舟合併により指標1を変更															

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	事業の内容		その成果	
国庫支出金	0	0	平成27年度		平成28年度	
県支出金	0	0	【事業の内容】 市並びに地域文化の振興に資するため、文化団体等に下記の補助金を支出する。 山本有三ふるさと記念館運営補助金 文化活動協議会補助金		【事業の内容】 市並びに地域文化の振興に資するため、文化団体等に下記の補助金を支出する。 山本有三ふるさと記念館運営補助金 文化活動協議会補助金	
地方債	0	0	【成果】 山本有三ふるさと記念館の運営を補助することにより山本有三の顕彰を図ったほか、文化団体の活動(文化祭等)を支援することができた。		【成果】 山本有三ふるさと記念館の運営を補助することにより山本有三の顕彰を図ったほか、文化団体の活動(文化祭等)を支援することができた。	
その他特財	0	0				
一般財源	6,584	6,584				
事業費 a	6,584	6,584				
人件費 b	1,875	1,875				
減価償却費 c	0	0				
総事業費 a+b+c	8,459	8,459	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価
結果指標 1	361.00	366.00	市文化祭等参加団体数	市文化祭等参加団体数 H28目標数値：410団体	団体	妥当性
結果指標 2	2.00	2.00	補助金交付団体数	補助金交付団体数 H28目標数値：2団体	団体	妥当
妥当性: 妥当    コスト削減の余地: 無    受益者負担: 適正    上位貢献度: 有効    類似事業の有無: 無    成果向上の余地: 有						

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 山本有三ふるさと記念館の運営を補助することにより山本有三の顕彰を図ることができた。また、文化団体をとおり、市文化祭等の文化活動の活性化や伝統芸能等の保存活動を支援し、地域文化の振興に資することができた。					
--------	---	--	--	--	--	--

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100404	予算事業コード	572301	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策	
事業名	とちぎ蔵の街美術館運営費										主	5401	文化の振興	文化芸術活動の推進	
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 文化課 美術館係					担当者	金子 佳世子		従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	とちぎ蔵の街美術館条例				事業期間	H 2 6 ~ H 3 3 年度		全体事業費 (人件費除)	138,257	千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どうい方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・とちぎ蔵の街美術館運営協議会を開催する。 ・栃木市美術資料等評価委員会を開催する。 ・市収蔵品の適正な管理に努める。 ・展示品監視ボランティア参加人数の増加に努める。 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・とちぎ蔵の街美術館の適正な運営に努める。							
	成 果 策 目 標	文化会館等年間入場者数...平成29年度で273,000人(現状値265,369人) 文化祭参加団体数...平成29年度で400団体(現状値382団体) 平成26年度の岩舟合併により指標1を変更													

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	事業の内容									
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成27年度 【事業の内容】 ・美術館運営協議会を年2回開催 ・市美術資料選考評価委員会を年2回開催 ・市収蔵品の適正な管理に努めた。 ・展示品監視ボランティア参加人数の増加に努めた。 【成果】 ・美術資料選考評価委員会を年2回開催し、市ゆかりの美術工芸家の優品8点の寄附を受け入れ、清水登之及び喜多川歌麿の作品各1点を適正な価格で購入した。								
	県支出金	0	0									
	地方債	0	0									
	その他特財	11,988	10,699									
	一般財源	6,022	6,720									
	事業費 a	18,010	17,419									
	人件費 b	2,250	2,250									
減価償却費 c	0	0	平成28年度									
総事業費 a+b+c	20,260	19,669	【事業の内容】 ・美術館運営協議会を年2回開催 ・市美術資料選考評価委員会を年2回開催 ・市収蔵品の適正な管理に努めた。 ・展示品監視ボランティア参加人数の増加に努めた。 【成果】 ・美術資料選考評価委員会を年2回開催し、市ゆかりの美術工芸家の優品123点の寄附を受け入れ、清水登之等の美術工芸家の作品合計6点を適正な価格で購入した。									
結果指標 1	4.00	4.00	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 2	1,010.00	1,108.00	収蔵品活用回数	収蔵品活用回数(貸出し含む)(年/回) H28目標数値:4回	回		妥当	無	適正	有効	無	無
			ボランティア参加数	ボランティア参加人数(人) H28目標数値:1100人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)					
	・とちぎ蔵の街美術館運営協議会を年2回開催した。 ・栃木市美術資料等評価委員会を2回開催し、市ゆかりの美術工芸家の優品123点の寄附を受け入れ、鈴木賢二、清水登之、橋本邦助及び田中稲邨の作品合計6点を購入した。 ・市収蔵品の適正な管理に努めた ・展示品監視ボランティア参加人数の増加に努めた。					

事後評価備考						
--------	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	100405	予算事業コード	578401	事業区分	04	義務的事业	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策							
事業名	文化会館管理運営委託事業費										主	5401	文化の振興	文化芸術活動の推進							
担当部課 係・担当チーム名	生涯学習部 文化課 文化振興係					担当者	木嶋文子					従									
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H 2 1 ~ H 3 3 年度		全体事業費 (人件費除)	1,129,745	千円				
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木、大平、藤岡、都賀の文化会館に指定管理者制度を導入し、管理運営委託料を支出 ・施設の利用に関する業務 ・施設設備の維持管理及び補修に関する業務 ・会館全般の管理運営に関する業務 ・会館自主事業に関する業務 <b>【主要事業】</b>										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) ・文化会館の管理運営の円滑な執行 ・施設利用の改善 ・施設設備の効率的な維持管理 ・事務効率の改善 ・自主事業の円滑な実施									
	成果目標	文化会館等年間入場者数...平成29年度で273,000人(現状値265,369人) 文化祭参加団体数...平成29年度で400団体(現状値382団体) 平成26年度の岩舟合併により指標1を変更																			

単位：千円、人	平成27年度決算額	平成28年度決算見込	事業の内容 その成果			事業の内容 その成果						
国庫支出金	0	0	平成27年度			平成28年度						
県支出金	0	0	【事業の内容】			【事業の内容】						
地方債	0	0	・施設利用者へのサービス向上			・施設利用者へのサービス向上						
その他特財	6,640	5,647	・円滑な管理運営の実施や施設設備の維持管理及び維持補修			・円滑な管理運営の実施や施設設備の維持管理及び維持補修						
一般財源	143,146	139,611	・各種業務の効率化と着実な履行			・各種業務の効率化と着実な履行						
事業費 a	149,786	145,258	【成果】			【成果】						
人件費 b	2,250	2,250	・利用者からの意見要望を反映したサービスの提供に努めた。			・利用者からの意見要望を反映したサービスの提供に努めた。						
減価償却費 c	0	0	・簡易な修繕を職員が対応するなど、経費削減等に努め、効果的に修繕を実施した。			・簡易な修繕を職員が対応するなど、経費削減等に努め、効果的に修繕を実施した。						
総事業費 a+b+c	152,036	147,508	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	265,036.00	308,259.00	利用者数	年間利用者数 H28目標数値：235,330人	人	妥当	無	適正	有効	無	無	
結果指標 2	38.15	39.70	全会館稼働率	各会館稼働率の平均(稼働率=年間使用日数÷開館日数) H28目標数値：35.5%	%							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 平成26年度から栃木、大平、藤岡、都賀の文化会館に一括で指定管理者制度を導入し、管理運営業務を統一化したことにより利用者の利便性向上、経費節減による市財政負担の削減等を実施し、施設の効率的・効果的な運営が図れている。											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--